

## 令和2年度 さいたま市立和土小学校 自己評価書

校長 辻 美由紀 印

### 1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) 人権課題「人間関係づくり」に視点を当てた授業づくりを推進し、道徳教育や互いのよさを認め合う学級づくりの充実により「やさしい子」を目指す。

道徳教育の状況、いじめ防止等の状況、生徒指導の状況、教育相談の状況

(2) タブレットの活用等、一人ひとりの学びを大切にした教育を推進し、算数科を中心に基礎学力の向上の研究を通して「かしこい子」を目指す。 児童生徒の学力・学習状況、教員の授業にかかわる評価

(3) 体育の授業の充実や保健教育、安全教育、食育等の取組により、「たくましい子」を目指す。

健康教育の状況

(4) 施設・設備の整備等安全管理の徹底や感染症対策の徹底により、安全・安心な学校づくりを目指す。スマイルタイムの実施により、児童の心の揺れに対応する。

児童生徒の安全・安心の状況、いじめ防止等の状況

(5) 教師のやりがいと業務の効率化を考え、校内業務改善プロジェクトを推進する。

学校における働き方改革の状況

### 2 評価結果について 文中の数値は「とても思う」「そう思う」を合わせた回答率

(1) 児童によるアンケートで「友達となかよく(99% 99%)」「相談できる友達がいる(95% 93%)」「先生は、頑張りをほめてくれる(91% 93%)」と良好な数値であり、取組の成果と捉えた。一方、「あいさつをする」については児童が96%に対して、保護者は71%と開きがあり課題である。道徳教育については、前年度からの課題であった指導者を招聘しての授業研究会を実施し、成果を校内で共有することができた。

(2) 児童によるアンケートで「授業は分かりやすい(94% 95%)」と意欲的な取組が伺える。また、高い割合ではないが、「自分の考えを発表(60% 68%)」との回答があり、児童の主体的な取組を目指した授業づくり推進の手応えを感じる。

(3) コロナ禍での行い方を工夫し、2学期に「にぎ投げキャンペーン」3学期に「縄跳び強化週間」の取組を実施することができた。月に1回の「すくすくタイム」の健康について適切な指導ができ、教職員のアンケートでは100%の回答を得た。

(4) 安全に関する保護者・地域のアンケートは、97%と高い評価を得たが、昨年度からは2 の減となり、学校における感染症対策等、不安を感じる保護者もいることが伺えた。また、スマイルタイムで児童との面談の機会を確保したことで、保護者アンケート「心の教育」の項目では(94% 99%)と高い評価を得た。

(5) 会議の時間を守る等の取組による業務改善について、教職員アンケートでは100%が意識して自身の業務を遂行することができた。在校時間については、上限の45時間以内の教職員の割合が、6月の62.5%から12月には87.5%まで高めることができた。

### 3 次年度に向けた具体的な改善策について

(1) 「あいさつ」については、学校運営協議会準備委員会でも課題として挙げられており、家庭・地域と連携した取組を検討する。

(2) 算数科を中心とした3年間の研究で成果と課題を整理し、次年度の学校課題につなげる。

(3) 従来からの体育的行事等についても行い方や実施の有無について検討する。

(4) 施設・設備の定期点検を生かし、計画的に整備を進めるとともに、感染症対策を徹底する。

(5) 引き続き、教職員からの声を生かした業務改善に取り組む。